

The Alumnae News of ND Seishin School

特集 西広島駅周辺 再開発



同窓会会長挨拶

同窓会会長
岩崎 恵子

同窓生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。いつもと同じ爽やかな季節が巡ってきていますが、新型コロナウイルス感染症の流行がはじまって2年余りが経ち、自粛生活のなか、マスク着用・手洗い消毒・三密を避けるなど生活が一変しました。皆さまのなかにも感染・発病、あるいは濃厚接触者になって苦しまれた方もいらっしゃるでしょう。心からのお見舞いを申し上げます。学校もさまざまな制約のなかで創意工夫を重ねながら献身的に努めてくださっています。同窓会行事も人が集まることが中心なので、ほとんど中止・延期が続いています。そんななか会報は、担当期の方々の知恵と工夫で皆さまにお届けできること大変嬉しく感謝いたします。

3月1日、67期生169名を同窓会に迎えました。新しい同窓生の未来に平安と多くの喜びがありますようにお祈りしております。

今は、予定は未定としか申し上げられないのですが、今年は5月の学園祭バザー・夏の同窓会総会は開催できるようにいろいろ準備をしております。新型コロナの様子次第で延期・中止になるかもしれません。同窓会のホームページなどでご確認くださいますよう、お願い申し上げます。

皆さまとはじけるような笑顔でお目にかかりますように、清心で培った勇気・知恵と愛をフル回転して。



表紙のことば 32期 谷口 泉（矢野）

桜をテーマに春を描いた作品です。猿猴橋でスケッチをしつつ、川面に映る青空や桜、行きかう電車を眺めながら、広島は美しい街だなと改めて思いました。

絵の中の自転車に乗った少年は、現実社会の中ではマスクをつけていました。みんながマスクを外し、爽やかな風を頬にうけながら幸せを感じられる春が待ち遠しいです。

また「なでしこの会」で同窓の皆さんにお会いできる時までにと、少しづつ描きためでいきます。

個人情報の取り扱いについて

登録されている個人情報は、同窓会からの案内・会報発送や名簿作成に利用しますが、本人の同意がある時および会長が必要と認めた時以外は開示しません。

ただし、各期委員からの同期会開催を目的とした住所シール、名簿の発行要請は従来どおり受け付けます。

同窓会名誉会長挨拶

ノートルダム清心中・高等学校校長
神垣 しおり



同窓会の皆さん、ご無沙汰しております。2021年度も前年より続く新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期した学園祭が非公開に、さらには学校への出入りも制限をお願いした関係で、ほとんど同窓生の皆さまとお会いできず、大変残念でした。そのような試練におきましても、皆さま方が母校に対してさまざまな助けの手を差し伸べてくださり、心より感謝申し上げます。

今もなお困難な状況が続くなか、生かされている命を真摯に受け止めながら、「心を清くし 愛の人あれ」という教えに則り、これまでの教育活動の見直し、新しい時代の到来を見据えた探究学習や電子機器導入などの新たな取組みを重ねております。母校の様子はぜひ、Facebookやホームページなどもご覧になってください。新年度、学園祭や他の行事などを皆さまとともに分かち合い、笑顔あふれる毎日を迎えられますように。皆さまのご健康と同窓会のますますのご発展を己斐の丘からお祈りしております。

学園関係物故者 慽靈祭ミサのお知らせ

毎年ノートルダムホールにて学園関係物故者慰靈祭ミサが行われます。

同窓会本部にご連絡いただいている同窓生の物故者の慰靈も一緒にしていただいております。

クリスマスミサのご案内

毎年12月24日16時より、学校でクリスマスミサを行っています。

どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。と一緒に主の御誕誕をお祝いいたします。

2021年はコロナ禍のため茶話会は行われませんでしたが、お土産がございました。



第66回 同窓会総会

日時 ▶ 2021年10月30日 場所 ▶ ノートルダムホール大講義室

第66回同窓会総会は当初8月1日（日）にANAクラウンプラザホテル広島で開催を予定していましたが、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となりました。10月30日（土）、2021年度第1回同窓会委員総会に併せて開催されました。

同窓会総会は、岩崎会長のご挨拶から始まり、続いて神垣校長からご挨拶をいただきました。

神垣校長からは、まず、今年度からの先生方の新組織体制をご紹介いただきました。それから、「コロナも状況が少し好転しているなか、昨年は開催できなかった慰靈祭の御ミサも本日、講堂から教室への配信という形で開催できました。このように全ての行事において、感染予防の対策を整えつつ行っております。いつも同窓会のみなさまにご尽力いただいている学園祭も今年度は、延期・非公開・無観客や縮小にて開催できました。延期し、さらに行き先を変更した修学旅行も明後日に控えております。生徒達にとっては、かけがえのない学園生活ですが、いろいろな制限がかかっています。そんななかでも『清心魂』といいますか、『なんとかしよう』という思いは中1から高3まで同じです。また、同窓会の皆さまには、コロナ禍においてもたくさんのご支援をいただき、大変感謝しております。さらにもう一つ、宣伝なのですが、今年より本校のFacebookページを開設いたしました。今は登録者数を増やすことを目標にしておりますので、よろしくお願いします。卒業生情報などとも繋がれたらよいと考えております。そのような繋がりは大切ですので、ぜひご登録よろしくお願いします。」とのご挨拶がありました。

次に永年勤続の先生の表彰が行われました。本年度は石黒洋先生、松井研心先生（ともに20年表彰）、黒田陽子先生（10年表彰）が表彰され、石黒先生よりご挨拶がありました。

その後2020年度事業報告、決算および監査報告を行い、2021年度の予算が承認され、閉会となりました。



関東支部だより

2020年度に引き続き、2021年度の関東支部同窓会も開催することができませんでした。幹事を引き継いでくださり、対応を協議しながら次年度に向けて粘り強く活動を続けてくださっている幹事期の皆さま、本当にありがとうございます。状況が落ち着き、多くの皆さまにお目にかかることができる日を楽しみにしています。

さて、関東支部では、前支部長様の時代からブログに加えFacebookグループでも交流しています。直接お目にかかる日を待ちにしつつ、このような時代ならではの方法も活用し、交流を深めることができれば幸いです。検索しても見つからない場合は、お気軽に下記連絡先までご連絡ください。

なお、2022年度の関東支部同窓会は中止となりました。

関東支部 Facebook

<https://www.facebook.com/groups/2073937316155271/>



関東支部 ブログ

<https://ndkanto.blog.fc2.com/>



<関東支部連絡先>

関東支部長 37期 真壁 直子（北村）

関西支部だより

昨秋の同窓会もコロナ禍で、一昨年同様開催できませんでした。こんなときだからこそ、情報交換ができればよかったのですが、いざこも同じ「ステイ・ホーム」の止むなきでした。

関西は、京都、大阪、神戸と魅力的な都市が拡がっており、同窓会の会場がどこになるのか、いつも楽しみになっています。

本部から先生方、同窓会長にお越しいただき、母校や本部のとっておきのお話を披露していただいて、懐旧に浸ったり、刺激されたり。同窓生は、全員がスピーチ。関西弁がいつの間にか熱のこもった広島弁の本音の話に大笑いです。広島を離れ、それぞれの地で馴染みながら奮闘している同窓生に共感し、勇気づけられます。

幹事が毎回交代し、趣向を凝らした運営に心躍らせて、参加させてもらっています。

今年こそ二年分の同窓会を取り戻し、元気で多くの同窓生が集えるよう願っています。

<関西支部連絡先>

関西支部長 14期 居藤 信枝（大越）



お元気ですか

上田 嘉治 先生 (国語科)



私にとって昨年2021年は、自分の人生のなかでも屈指の大きな節目の年でした。35年間お世話になった清心を定年退職し、新たな仕事に就いて第二の人生を歩み始めたからです。その仕事とは、私自身も全く想定外でしたが、ワインの販売という仕事でした。その仕事に就いた経緯は紙面の都合上割愛しますが、世界の国々からワインを輸入し販売する会社に就職しました。最初は知識が皆無に等しかった私も、本社で研修を受けたり実際にワインを試飲したりするうちに、その微妙な個性の違いが少しは理解できるようになりました。確かにワインは作られた国や地方、葡萄の種類や製法の違いなどによって味も香りも千差万別で、その世界の奥深さを知ることができたのは大きな収穫でした。

そしてその頃、私の生活に変化を余儀なくされた出来事が母親の介護です。母が脊椎の圧迫骨折でほとんど歩けなくなり、治療によってもなかなか快復せず、家事などの大部分を私が引き受けざるを得なくなってしまったのです。それで母の介護と、休みが不定期で夜も遅くなりがちな仕事との両立が難しくなり、熟慮の末、昨年末に第三の仕事に転職しました。

その仕事は、何らかの事情により学校に行けず、不登校や引きこもりとなった青少年の人たちを、社会で自立して生活できるように支援していくという、一般社団法人が運営する仕事です。私は主に学習の支援を担当していますが、教員の時と違って専門の教科以外を質問されるなど、結構大変なこともあります。が、さまざまなハンディを背負いながらも何とか高校の単位を取得しよう、将来生活の糧となる技能を習得しようと懸命に努力しているメンバーの姿を見ると、自分も頑張らなくてはと、逆に励まされることの多い毎日です。

以上が私の近況です。今後何年先まで続けられるか分かりませんが、健康でいられる限りまだ当面は仕事をして、微力ながらも社会に貢献していきたいと思っています。



おめでとうございます 永年勤続表彰

石黒 洋 先生 20年 (国語科)



20年間、この職を続けてこられたのは、ひとえに、これまでの生徒、保護者、同僚教員および卒業生の支えあってのことだと思います。感謝しております。

20年といえば、世界は大きく変わりました。一方で、自分は、その外面に比して、内面は驚くほど変わっていないように感じられますし、相も変わらず、生徒とのやりとりに右往左往する日々を送っております。

「かりそめの客」としてこの丘を去った後に、自分の変化に気がつくのかもしれません。それまで、疾風怒濤の世間の中、この丘の上で、清心が「そこにありつづけること」に尽力していきたいと思います。

卒業生の皆さんには今後とも、変わりなく清心を見守っていただければ幸いです。

松井 研心 先生 20年 (数学科)



このたびは、同窓会より勤続20年を表彰していただきありがとうございました。20年という年月を、本校で勤務することができたのも、同

窓会の皆さんをはじめ、多くの学園関係者の方々の支えがあってこそと、心より感謝いたしております。

この20年を振り返ると、さまざまな生徒や出来事が思い出されます。自分の力不足を感じることが多々あります。これから社会はさらに変化をしていくこととなると思いますが、清心生一人ひとりに向き合い、より良い学校になるよう日々努力していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりますが、同窓会の皆さんのますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

黒田 陽子 先生 10年 (社会科)



このたびは勤続10年の表彰を賜り、心よりお礼申し上げます。10年続けることができましたのも、

同窓会の皆さんをはじめ多くの学園関係者の方々の支えのお陰と感謝しております。

今、学園祭実行委員会の参与を務めております。過去2年、大幅な変更を経験した67期68期実行委員の助言をもとに、69期が日々準備に奔走しています。

「行事が人を育てる。」コロナ禍で痛感した思いです。同窓会の皆さんのがわらぬ学園祭へのご支援に深く感謝しております。

同窓生の活動

ユリア会

例年、春分の日前後にカトリック信者同窓生の集い「ユリア会」を行っています。どうぞお気軽にお越しください。

〈連絡先〉 Sr. 中村 彩子 お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



清心なでしこ医会

同窓医師の会で、会員は現在約160名です。毎年4月に、総会、懇親会を開いています。懇親会では、前半に講演会やミニコンサートを行い、後半に食事をしながらの近況報告、情報交換をします。子供同伴での宮島探索や、広島学院翠仁会との合同懇親会を企画する年もあります。

5月の学園祭では、骨密度測定コーナーを開き、毎年好評いただいています。

6月には学校健診（内科、耳鼻科、眼科、歯科）に出向いています。特に内科は、医師全員が卒業生イコール女医となるので、在校生は質問、相談がしやすいかと思います。

コロナ禍で健診以外は活動休止中です。早く日常が戻りますように。新規入会もお待ちしております。

〈連絡先〉 なでしこ医会事務局 E-mail nadeshiko_ikai@kde.biglobe.ne.jp



総会での講演



総会でのミニコンサート

コース

私たちは月2～3回金曜日の午前中に20名程度で練習しています。ある時は昔懐かしい曲や、今流行っている曲を歌い、またある時は若い作曲家が作ったリズムの難しい曲に挑戦しています。コロナ禍で母校での活動は行えませんが、近隣の教会をお借りして練習を行っております。

本来であれば練習後のおしゃべり、食事会、レクも楽しいですよ。歌の好きな方は一緒に歌いませんか。

〈連絡先〉 9期 石橋 秀子（井上） お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724

なでしこの会

2022年1月に予定していた第37回なでしこの会展は、市内コロナ感染者急増で今年も中止になりました。しかし、作品を通して、お世話になった先生や同窓生と繋がっていることに感謝しています。右の絵は広島大学病院2階にある社河内先生の描かれた絵です。そこに行けば作品に会える喜び。絵には力がありますね。作品展は延期になりましたが、皆さんにお会いできる日を楽しみに、次への制作に励みます。

これからもよろしくお願ひします。

〈連絡先〉 23期 渡辺 紀久子（鎌田） お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



ミスター・タクラの英会話

サプライズです！リモートならではです！なんと横浜在住の33期の方がご参加下さいました！コロナ禍で2020年9月からリモートレッスンに切り替え、第2、第4火曜日の13時30分～15時20分に行なっています。3期～33期の約10名が110分間、オールイングリッシュで1分間スピーチやお題に沿ってディスカッションしています。ヒアリング力とスピーキング力がつくのはタクラ先生のネイティブレッスンならでは、です！コロナが収束し同窓会室での通常レッスン再開を祈るばかりです。お問い合わせの上、お気軽にご参加下さい。

〈連絡先〉 21期 坂尾 美奈子（上田） お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



英語を楽しむ会

第1、3水曜の13時30分から皆実町の健康福祉センターまたは東千田町のCLIP HIROSHIMAに集まっています。講師は11期の三浦智世子さんです。リモートレッスンも並行して行っていますので、会場に来られない方も自宅から参加できます。

レッスンの前半は英文テキストの和訳、後半は“What's new?”と近況を話したり、気になる「今の話題」についての意見交流を行っています。神垣校長先生から紹介された英訳版『被爆体験記 ヒロシマ』(水江顕子著)は、Sr. 渡辺愛子と同窓生の皆さんの労作です。この本をきっかけに、以前から会員間で話題になっていたジョン・ハーシーの『ヒロシマ』の原典の一部を読むことができました。

語り合い学び合うことで世界が広がる会です。皆さまのご参加をお待ちしています。

〈連絡先〉 12期 小辻 たか子（吉沢） お問合せ 同窓会事務局 TEL082-271-1724



特集

西広島駅周辺 再開発

近年、清心生に馴染みの深いJR西広島駅周辺の再開発が進んでいます。

現在、本通駅から安佐南区を横断するように、エディオンスタジアム広島（通称ひろしまビッグアーチ）のある広域公園前駅までを結んでいるアストラムラインですが、広域公園前駅からJR西広島駅周辺まで南下する延伸化計画が進められています。これに伴い、JR西広島駅は2020年に解体され、①自由通路の整備②南口前広場の整備③北口前広場と周辺道路の整備を主軸に、再開発が進んでいます。そして2021年12月、JR西広島駅の新たな橋上駅舎と自由通路が完成しました。自由通路によって改札を通らずに駅の南北を往来できるようになり、利便性が向上しました。さらに、自由通路および上下線のホームにエレベーター・エスカレーターが新設されたことで、バリアフリー化が進みました。

同窓生が見慣れているJR西広島駅は、広島都市圏の「西の玄関口」として生まれ変わりつつあります。



アストラムライン延伸化計画（出典：広島市HP）



西広島駅配置図（出典：広島市HP）



旧JR西広島駅



現在のJR西広島駅

JR西広島駅自由通路・橋上駅舎開業記念式典には、在校生の弦楽部と合唱部が演奏・合唱を披露し、渡り初めの先導役も務めました。現在、JRは在校生の8割以上の人たちが通学に利用しており、地域の皆さまにお世話になっていることを再確認する機会となりました。この開業式典の様子は、当日のRCCニュースでも紹介されました。



自由通路・橋上駅舎開業記念式典の様子

また、JR西広島駅前にあり、広電西広島駅に隣接していた「ひろでん会館」ですが、再開発に伴い2019年に解体されました。そして、同じ場所に2020年2月、「KOI PLACE（略称：コイプレ）」という芝生の広場や小規模店舗が並ぶ、憩い・くつろぎ・交流のパブリックスペースが新設されました。ここでは、広場やコミュニティ施設が自由に使えるほか、季節に合わせたさまざまなイベントが開催されています。

この「KOI PLACE」は、これから進むJR西広島駅周辺のまちづくりを見据えた、新設から3年間（予定）の広島電鉄所有地等の暫定土地活用プロジェクトの第一弾として位置付けられており、にぎわいの創出や交流の促進、地域の魅力向上をめざしていく取組みとされています。



現在の広電西広島駅（奥）とKOI PLACE（手前）



ひろでん会館



KOI PLACEの様子

2021年12月にはクリスマスイベントが開催され、たくさんの来場者が訪れていました。ホットワイン

や温かい料理の提供、音楽や大道芸のステージ、ワークショップなどが行われるなか、イベントの一つとして、ノートルダム清心カトリック研究会によるトーンチャイム演奏が行われました。いくつかのクリスマスソングが披露されると、「KOI PLACE」は一気にクリスマスの雰囲気に包まれました。午前中に終業式を終えて集まった制服姿の在校生は、イベントを通して地域の方々との交流を大切にしていました。また、下校中の在校生も、観客席から鑑賞し応援している姿に、在校時の楽しかった日々を思い出し、胸が熱くなりました。

JR西広島駅周辺は、今後もタワーマンション建設などを控えており、さらに変化を遂げる予定です。在校時の懐かしい西広島駅周辺の様子を胸に刻みつつ、変わりゆく姿をこれからも見届けたいと思います。



トーンチャイム演奏会の様子

2021年度 在学生大会報告

- 【高校放送部】**「第45回広島県高等学校総合文化祭放送文化部門第32回広島県高等学校放送文化コンクール県大会朗読部門」最優秀賞・県知事賞
- 【高校合唱部】**「第60回中国合唱コンクール高等学校部門A グループ」銅賞
- 【中高クラシックギター部】**「第44回広島県中学・高等学校ギター・マンドリンフェスティバル」優秀賞
- 【高校箏曲部】**「第33回広島県高等学校邦楽演奏会」最優秀賞
- 【高校古典文学研究部】**「第24回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会」第3位
- 【高校囲碁部】**「第45回全国高等学校総合文化祭囲碁部門広島県代表選考大会」優勝
- 【高校水泳部】**「第69回中国高等学校選手権水泳競技大会競泳競技 800m自由形」第8位
- 【高校山岳部】**「第61回中国高等学校登山大会」優勝
- 【国語科】**「第67回青少年読書感想文全国コンクール」広島県特選
「JICAエッセイコンテスト2021中学生の部」国際協力特別賞
- 【社会科】**「第60回地図ならびに地理作品展」国土地理院長賞

なでしこ通信

49期 大原 知子



36年の人生で、さまざまなライフステージを経験するなかで、私は楽しんでいるときに一番力を発揮すると実感しています。楽しみを作つてワクワクすることが好きです。

現在は東京でオンラインマーケティングの仕事をしています。私はシングルマザーで、娘が3歳の頃に「今の自分のスピードだと、すぐに娘に追い抜かれる」と焦り、ライフステージを真剣に検討。日本の会社に戻ってくる若手育成プログラムにチャレンジしたいと考えました。両親に応募したい海外赴任プログラムがあることを伝え、育児サポートが必要な場合は母に帯同してほしいこと、その間父は一人暮らしになるが頑張ってほしいことを相談。結果、家族を巻き込んで上海へ2年間赴任し、Eコマースの広告関連に従事。中国のスピード感とチャレンジ精神は大変刺激されました。また、趣味のセーリングを通じてさまざまな国籍の友人に恵まれ、遊びや生活面でも多大な支えとなりました。海外赴任経験が私の視野を広げたことに大変感謝しています。

上海の友人に誘われ、帰国後はトライアスロンを開始。新しい趣味を通じて、日本でも新しい友人に恵まれました。ワクワクする方向に進み続けたところ、2021年日本トライアスロン連合の年齢別ランキングの結果は全国1位。友人と海外のレースで再会することを約束しています。

皆さんも、ワクワクすることにはチャレンジしてみると良いですよ。想像していたものとは違うかもしれません、気づくと自分の道ができています。これからも、人に恩返ししながらワクワクする方向に進んでいきたいと思っています。



〔同窓生の皆さまへ〕

◆同窓会へのご質問・ご連絡はこちらまで E-mail dousoukai@hiro-seishin.ed.jp

◆執行部役員を募集しています。上記連絡先へご連絡ください。

◆新型コロナウイルス感染症の状況によって予定変更の可能性があります。各連絡先にご確認ください。

ノートルダム清心中・高等学校ホームページ
<http://www.hiro-seishin.ed.jp>



ノートルダム清心中・高等学校フェイスブック **New!**

<https://www.facebook.com/ノートルダム清心中高等学校-109596051333177/>

ノートルダム清心中・高等学校同窓会ホームページ

<https://www.seishin-dosokai.com>

※住所・氏名変更の際はこちらのHP「住所変更申請フォーム」より手続きしてください。

会報誌 電子版



◆バックナンバーもこちらからご覧いただけます。

<https://www.seishin-dosokai.com/kaihou/>

編集委員

47期 久保 有子 (南崎)、灘野 あゆみ (橋本)

48期 岩佐 敦子 (藤本)、升田 夏希 (濱田)
宮下 真帆 (土生)

49期 後藤 智美 (佐藤)、山持 雪絵 (板本)

編集後記

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、3年目となりました。同窓会関連行事を開催できない状況が続くなかったため、関係者の皆さまには原稿作成に早く応じていただき、大変感謝しております。会報作成を通じて、あらためて清心生の絆を感じることができ、貴重な経験をさせていただきました。

さて、今回は、変わりゆくJR西広島駅周辺の様子を取りました。同窓生の皆さまが母校へ通っていた頃は、どのような様子だったのでしょうか。当時の様子を懐かしく思ひ出していただけたら幸いです。ご意見ご感想がありましたら、ぜひお聞かせください。

最後までご覧いただきありがとうございました。

(編集委員一同)